

2. 特別養護老人ホーム晴山苑

概要

基本方針

はじめに

1. 特別養護老人ホーム
2. ショートステイサービス
3. デイサービス
4. 訪問介護
5. 訪問入浴
6. 居宅介護支援事業所

<平成 30 年度行事予定表>

特別養護老人ホーム 晴山苑

平成30年度 事業計画

概要

特別養護老人ホーム晴山苑は、昭和52年3月16日に開設し、現在は特別養護老人ホーム、ショートステイサービス、デイサービスと訪問介護、訪問入浴、居宅介護支援事業所の各種在宅介護サービスを併設しております。千葉市ならびに隣接する八千代市、習志野市等地域にお住まいの高齢者の方を対象に「必要とされるサービス」を「必要とされる時」に「必要とされる場所」で「ご利用者様の皆様の満足感・安心感・信頼感の得られる介護サービス」を一体的に提供することを第一義としています。

基本方針

- ご利用者の身になって、「思いやり」・「いたわり」・「気配り」の行き届いた家庭的な接遇を実践します。
- 職場には、向学心・向上心に応えうる勉学・研修の機会を十分に確保し、チームワークと家庭的な雰囲気重視した職場づくりを進めます。

はじめに

平成30年度の介護報酬は、0.54%のプラス改定となります。しかし、従来型特別養護老人ホームである晴山苑は、他の施設に比べ利用者負担が少なく、常に満床かそれに近い状態を保っているとはいえ、日々、厳しい環境の変化にさらされているのが現状であります。また、当施設に併設されている在宅系サービスについても同様です。

そこで、中重度の要介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を作り、介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを提供し、地域福祉の拠点となるように努めて参ります。また、職員一人ひとりが、自部門の置かれている状況を把握し、運営に関り、活発な意見交換が出来る施設にして参ります。

1. 特別養護老人ホーム

1) 施設稼働率の維持

平成29年度は施設稼働率が97.0%（平成30年1月末までの平均）と、前年度96.7%（平成28年度同月実績）と同等以上の実績を残す事ができました。全国平均の94.8%（福祉医療機構調べ）を上回っており、良い実績が残せたといえます。

しかし、特別養護老人ホームという要介護度の高い利用者を受け入れる施設である以上、入院も多いため、現状の施設稼働率を維持する事が重要と考えます。

よって、平成30年度は施設稼働率の維持を目標に掲げ、前年度同様、入退所期間を2週間以内に収めていく事に重点を置き、安定した施設運営ができるよう取り組んで参りま

す。

2) 介護報酬改定への対応と収支改善

平成30年介護報酬改定により、特別養護老人ホームにおいては基本報酬が平均で1.85%増加となります。また、新しい加算においては、医療と介護の連携、排泄や褥瘡などに対する取り組みに対し算定できるものが追加されました。

新規加算取得に向けた体制を整備し、より多くの加算を算定していく事で、収支改善に努めて参ります。

3) 施設整備に関する計画

(1) 施設の改修

現在の施設は平成13年に竣工し、築16年が経過しています。特に旧棟は、昭和61年に竣工した建物の為、外壁の汚れやひび割れ、内装の劣化などが見られています。利用者様に快適な日々を過ごしていただく為に、改修工事を検討して参ります。

(2) 通信環境の整備

現在使用している電話器や配線、インターネット回線は、16年前に施設が出来た時に整備したもので、老朽化に伴い故障や回線が繋がらなくなるなどの不備がでてきています。業務がスムーズに行える様に修理を検討して参ります。

(3) ベッドマットレスの交換

現在使われているマットレスは、現在の施設が出来た時に購入した物で、16年が経過しています。マットレスが老朽化し、使用の限界となっている為、ベッドマットの交換を計画的に進めて参ります。

4) 介護職員の確保

特別養護老人ホーム入所部門の介護職員数は利用者対比2.43対1(平成29年12月現在)と、平成28年度2.73対1と比較すると改善が図られました。しかし、派遣職員を採用しているため、人件費が高騰していることも事実です。

現在、介護職員の求人倍率は高く、採用が厳しい状況です。また、現職の介護職員の年齢層は高く、退職により人数の減少が見込まれます。そこで、一定数の新人介護職員を採用していく事が事業の安定化につながります。そのため、平成30年度は各種就職説明会に参加していくほか、介護系専門学校への求人票提出、近隣高校への挨拶回りなど、新人介護職員採用につながる取り組みを行って参ります。

5) 介護職員の力量及び生産性の向上

安定的な経営及び良質なサービスを提供していくためには、介護職員の力量及び生産性を向上させることが重要と考えます。力量を向上させることにより、良質なサービスを提供できるほか、各種加算の算定にもつながります。また、生産性を向上させることにより、介護職員不足を補えるほか、派遣職員費の軽減にもつながります。

そこで、平成30年度は以下の内容について取り組み、力量及び生産性の向上を図って

いきます。

(1) 力量の向上

- ①介護職員に対する研修の増加
- ②新人介護職員に対する教育、研修の増加
- ③介護福祉士取得に向けた、介護職員初任者研修、実務者研修の受講推進

(2) 生産性の向上

- ①介護業務の効率化
- ②介護ロボットの導入
- ③ナースコールや見守りシステムの導入

2. ショートステイサービス

平成 29 年度は、稼働率 97.9%（平成 30 年 1 月末までの平均）前年度の稼働率 91.4%と比べ 6.5%上昇し、高稼働を達成しました。平成 30 年度は、前年度の取り組みを継続しつつ、各職種が連携をより強化し、利用者、家族の気持ちに寄り添える介護を実践し、選ばれる事業所を目指して参ります。

1) 利用者処遇に関する計画

- (1) 病院、看護と連携し、医療ニーズの高い利用者の受入れの拡大を図ります。
- (2) 看護と連携し、利用者の急な体調変化にも柔軟に対応し、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。
- (3) 特別養護老人ホーム入所部門と連携を強化し、特養空床利用の促進や、短期入所の空床期間短縮を図ります。
- (4) 利用者、家族のニーズを把握し、急な空床が出来た際に情報をアナウンスし、入所につなげて参ります。
- (5) 事業所の特色を見出し、繰り返し利用したいと思える事業所を目指します。

2) 職員処遇体制に関する計画

- (1) 定期的に会議を開催し、職種間の連携を強化し、目指すべき目標に対して統一された意識で取り組みます。
- (2) 外部研修に参加し、専門職としての知識を高めます。

3) 施設整備に関する計画

- (1) 記録システムの導入
記録システムを導入し、仕事の効率化を図ります。また、少ない職員でも業務が円滑に行える体制を整えて参ります。

4) 利用者増加の為の介護支援専門員との信頼関係の構築及び営業強化

定期的にケアマネジャーと関る機会を増やし、ケアマネジャーとの顔の見える関係を作り、信頼関係の構築と新規利用者獲得につなげます。

5) 経営の安定化

報酬改定に伴う新規加算を取得し、収入の向上に努めて参ります。

3. デイサービス

平成 29 年度は、平均利用者数 27.5 名（平成 27 年度 21.4 名、平成 28 年度 24.2 名、）の実績となりました。利用者増加の原因は、選ばれるデイサービス作りを掲げ、新たな取り組みを数多く取り入れた事にあるといえます。

平成 30 年度は、選ばれるデイサービス作りを継続し、サービスの質の更なる向上に努め、より多くの新規利用者を獲得する為に、以下の 5 点を重点施策とします。

1) 利用者増加の為に介護支援専門員との信頼関係の構築及び営業強化

(1) 利用実績の直接対応

利用実績は事業所に出向いて手渡しし、報告を行う。

詳細且つ分かりやすい報告書を作成する。

レク活動やリハビリの報告を、写真等を活用し分かりやすく報告する。

(2) 日々の報告

利用者の日々の変化の報告を、電話やファックスを使用し毎日行う。

(3) 振替利用の受け入れ

急な利用日の変更依頼に迅速に対応する。

振替利用、追加利用を促進していく。

(4) 新規事業所の開拓

地域連携推進会の開催する研修会などに積極的に参加し、併設居宅介護支援事業所以外のケアマネジャーにも当事業所を知ってもらい、外部事業所との連携を図ります。

2) 記録システムの導入

(1) 業務の効率化

今まで手書きで行っていた業務を、記録システムの導入を図る事で効率化し、職員の超勤を削減します。

(2) 直接処遇に係る時間の増加

業務の効率化により利用者に係る時間を増やし、利用者満足度、職員満足度を向上させます。

3) 施設整備に関する計画

(1) 安全・安心な送迎の為に、冬期はスタットレスタイヤを装備する。

(2) 老朽化した施設の整備

デイサービス棟は築 31 年が経過し、外壁のひび割れ、内装の劣化等、設備に不具合が生じています。利用者に快適な時間を過ごしていただく為に、修繕を検討して参ります。

4) サービスの質の向上

(1) 外部研修の参加

外部研修に積極的に参加し、生活相談員の提案力、解決力、報告力を磨き、ケアマネジャーから選ばれる事業所を作ります。

(2) 意識の向上

デイサービスの知識、技術において、職員一人ひとりがデイサービスのプロとしての意識を持ち、ケアマネジャーと連携を図って参ります。

5) 利用者満足度の維持・向上

(1) ボランティアの活用

囲碁、将棋の相手、視覚障害者への朗読、デイサービスのイベント開催

(2) アクティビティーの充実

- ①おやつ作りの実施
- ②大運動会の開催
- ③買物デイの実施
- ④夏祭りの実施
- ⑤青空体操の実施

4. 訪問介護

平成 30 年介護報酬改定により、自立支援のための見守りの援助が明確化され、生活援助のうち、訪問介護員が代行するのではなく、安全を確保しつつ常時介助できる状態で見守りを行いながら、日常生活動作向上の観点から、利用者の自立支援に資するものは身体介護として扱われます。利用者の出来る事を奪う介護ではなく、利用者の出来る事を増やす介護を推進していかなければなりません。より専門職としての知識・技術が求められてきます。新入職員が 1 名入職したこともあり、サービスの質の更なる向上の為、当期の重点項目を次の 2 点とします。

1) 質の向上

- (1) 内部・外部研修への参加
- (2) 職員力量向上の為の OJT 指導
- (3) 利用者満足度の維持・向上

2) 利用者の確保

地域連携推進会の開催する研修会などに積極的に参加し、併設居宅介護支援事業所以外のケアマネジャーにも当事業所を知ってもらい、外部事業所との連携を図ります。

5. 訪問入浴

平成 29 年度は、利用者延人数 336 名（平成 30 年 1 月末まで）、平成 28 年度 547 名（平成 29 年 1 月末まで）と訪問入浴の利用は減少の傾向にあります。重度介護者を自宅でみるという事は、家族にそれだけの介護負担がかかり、家族の介護力も必要となります。在宅生活をより長く継続する為には、家族の介護負担の軽減を図りつつ、訪問入浴をはじめとする訪問系

の在宅サービスが連携して支えていく必要があります。その為に、高い知識と技術を研鑽し、質の高いサービスを提供して参ります。

そこで平成 30 年度訪問入浴事業計画は、「医療・介護事業所との連携」「知識、技術の向上」の 2 点に重点をおき実施して参ります。

1) 利用者処遇に関する計画

- (1) 内部カンファレンスを活性化し、安全かつ適切なサービスの提供。
- (2) 医療との連絡を密にし、重度利用者が安心してサービスを受けられる体制の構築。
- (3) 知識と技術を研鑽し、サービスの質の向上を図る。

2) 営業活動及び介護支援専門員、訪問看護ステーションとの連携強化

- (1) 利用者の報告を介護支援専門員に行う。詳細なサービス報告書の作成。
- (2) 定期的な居宅支援事業所への訪問。
- (3) 訪問看護ステーション併設の居宅支援事業所への営業強化。
- (4) 花見川訪問看護ステーションとの情報交換を行い、連携強化。

6. 居宅介護支援事業所

現在、晴山苑居宅介護支援事業所は 6 名体制、こてはし台居宅介護支援事業所は、パート職員を含め 3 名体制となっています。平成 30 年介護報酬改定において、介護支援専門員に対して今まで以上に義務や役割が求められるようになりました。業務の質についても厳しく求められる状況が依然として続いている中で、個々の介護支援専門員の力量アップが必須となってきます。

今後も質の高いケアマネジメントを維持する為に、平成 30 年度は下記の 4 点に重点をおき、事業を図って参ります。

1) ケアマネジメントの質の維持・向上

- (1) 外部研修への参加を増やし、人的資源の価値を高めます。
- (2) 介護支援専門員の力量を上げ、事業所のレベルアップを図ります。
- (3) 事業所における O J T 体制をシステムとして確立していきます。

2) 地域包括システムの推進

自宅で自分らしい生活が継続的に送れるように、医療・介護サービスとの連携を強化し、高齢者の相談やサービスのコーディネートに努めて参ります。

3) 利用者満足度の維持・向上

利用者満足度調査を実施し、結果に対して適切な対応と分析を行うことで、利用者満足度の維持・向上に努めます。

4) 利用者数の安定確保

病院・あんしんケアセンターと連携を図り、利用者の受入れを行っていきます。

7) 平成30年度行事実施表

4 月			5 月			
日	曜	行 事	ふれあい広場	曜	行 事	ふれあい広場
1	日	人事考課一次考課		火	人事考課二次考課 ケアマネ会議 医務室会議 菖蒲湯	
2	月	新規採用職員入職式(飛鳥晴山苑) ケアマネ会議	踊り(さくら会)	水		
3	火			木		車椅子ダンス
4	水		日本舞踊(舞園会)	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会	
5	木	医務室会議	車椅子ダンス	土		
6	金			日		
7	土	第19回晴山苑さくら祭り		月	ケアマネ会議 職員健康診断	踊り(なの花会)
8	日			火	ヘルパー会議 職員健康診断	
9	月	ケアマネ会議	地域介護公開研究会	水	職員健康診断	
10	火	ヘルパー会議 サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		木	衛生委員会	
11	水			金	ケアリーダー会議 人事考課最終考課	
12	木	衛生委員会	手話ダンス	土		民謡クラブ(松一会)
13	金	ケアリーダー会議 護摩焚 医療的ケア対策委員会		日		
14	土		民謡クラブ(松一会)	月	ケアマネ会議 買物代行	
15	日			火	生け花クラブ	講談
16	月	ケアマネ会議 買物代行		水	誕生会	
17	火	生け花クラブ		木		
18	水	誕生会 花島観音祭		金		
19	木			土		
20	金	在宅サービス担当者会議		日		
21	土	人事考課面接		月	ケアマネ会議	
22	日		講談	火	リスクマネジメント委員会	
23	月	ケアマネ会議 書道クラブ		水		
24	火			木	入所検討委員会	
25	水			金	施設運営会議 フロアー会議 デイ会議 給食会 議 ショート会議 感染症対策委員会	
26	木	入所検討委員会		土		
27	金	施設運営会議 フロアー会議 デイ会議 感染症対策委員会 ショート会議		日		講談
28	土			月	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ	
29	日			火		
30	月			水		
31				木		
その他					理事会 評議員会 嗜好調査 防火管理委員会 避難訓練	
苑内研修		「新規採用職員研修」「倫理規定研修」 「高齢者虐待防止研修」			「介護福祉サービス研修」	

6 月				7 月		
日	曜	行 事	ふれあい広場	曜	行 事	ふれあい広場
1	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		日		
2	土			月	ケアマネ会議	踊り (なの花会)
3	日			火		
4	月	ケアマネ会議	踊り (さくら会)	水		
5	火			木		
6	水		日本舞踊 (舞園会)	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会	
7	木	衛生委員会	車椅子ダンス	土		民謡クラブ (松一会)
8	金	ケアリーダー会議		日		
9	土		民謡クラブ (松一会)	月	ケアマネ会議	
10	日			火	ヘルパー会議	
11	月	ケアマネ会議		水		
12	火	ヘルパー会議		木	衛生委員会	
13	水			金	ケアリーダー会議 医療的ケア対策委員会	
14	木			土		
15	金	在宅サービス担当者会議		日		
16	土			月		
17	日			火	ケアマネ会議 生け花クラブ 買物代行	
18	月	ケアマネ会議 買物代行		水	誕生会	
19	火	生け花クラブ		木		
20	水	誕生会		金		
21	木			土		
22	金	施設運営会議 フロアー会議 デイサービス会議 感染症対策委員会		日		講談
23	土			月	ケアマネ会議	
24	日		講談	火	リスクマネジメント委員会	
25	月	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ		水		
26	火			木	入所検討委員会	
27	水	褥瘡対策 排泄委員会		金	施設運営会議 フロアー会議 給食会議 デイサービス会議 感染症対策委員会	
28	木	入所検討委員会		土		
29	金			日		
30	土			月	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ	
31				火		
その他		理事会 評議員会 夕涼み実行委員会 ISO推進会議 天戸中職場体験学習	夜間通報訓練		入所者健康診断 夕涼み会実行委員会	
苑内研修		「食中毒予防研修」			「身体拘束廃止研修」	

8 月				9 月		
日	曜	行 事	ふれあい広場	曜	行 事	ふれあい広場
1	水			土	防災訓練	
2	木	夕涼み会		日		
3	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		月	ケアマネ会議	
4	土			火		
5	日			水		
6	月	ケアマネ会議	踊り (さくら会)	木		車椅子ダンス
7	火			金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会	
8	水			土		民謡クラブ (松一会)
9	木	衛生委員会		日		
10	金	ケアリーダー会議		月	ケアマネ会議	
11	土		民謡クラブ (松一会)	火	ヘルパー会議 買物代行	
12	日			水		
13	月	ケアマネ会議		木	衛生委員会	
14	火	ヘルパー会議 生け花クラブ 買物代行		金	ケアリーダー会議	
15	水	誕生会		土		
16	木			日		
17	金	在宅サービス担当者会議		月		
18	土			火	ケアマネ会議 生け花クラブ	
19	日			水	誕生会	
20	月	ケアマネ会議		木		
21	火			金	人事考課 (自己評価)	
22	水			土		
23	木	入所検討委員会		日		講談
24	金	施設運営会議 フロア会議 ショート会議 ダイ会議 感染症対策委員会		月	書道クラブ	
25	土			火	ケアマネ会議 リスクマネジメント委員会	
26	日		講談	水		ノーリフティング研修
27	月	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ		木	入所検討委員会	ノーリフティング研修
28	火			金	施設運営会議 フロア会議 給食会議 ダイ会議 感染症対策委員会 ショート会議	
29	水			土		
30	木			日		
31	金					
その他	理事会 評議員会 防火管理委員会 花見川中職場体験学習			彼岸供養 敬老会 ISO内部監査 産業現場等実習 (天戸中学校)		
苑内研修	「疥癬予防研修」 「リスクマネジメント研修」					

10 月				11 月		
日	曜	行 事	ふれあい広場	曜	行 事	ふれあい広場
1	月	ケアマネ会議 医務室会議 人事考課一次考課	踊り(さくら会)	木	人事考課二次考課	車椅子ダンス
2	火			金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会	
3	水		日本舞踊(舞園会)	土		
4	木		車椅子ダンス	日		
5	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		月	ケアマネ会議	踊り(なの花会)
6	土			火		
7	日			水		
8	月			木	衛生委員会	
9	火	ケアマネ会議 ヘルパー会議		金	ケアリーダー会議	
10	水			土		民謡クラブ(松一会)
11	木	衛生委員会		日	人事考課最終考課	
12	金	ケアリーダー会議 医療的ケア対策委員会		月	ケアマネ会議	
13	土		民謡クラブ(松一会)	火	ヘルパー会議 生け花クラブ	
14	日			水	誕生会	
15	月	ケアマネ会議 買物代行		木		
16	火	生け花クラブ		金		
17	水	誕生会		土		
18	木			日		
19	金	在宅サービス担当者会議		月	ケアマネ会議 買物代行 書道クラブ	ノーリフティング研修
20	土			火		ノーリフティング研修
21	日	人事考課面接		水		
22	月	ケアマネ会議 書道クラブ		木	入所検討委員会	
23	火			金	施設運営会議 フロアー会議 給食会議 デイ会議 感染症対策委員会 ショート会議	
24	水	褥瘡対策 排泄委員会		土		
25	木	入所検討委員会		日		講談
26	金	施設運営会議 フロアー会議 ショート会議 デイ会議 感染症対策委員会		月	ケアマネ会議 医務室会議	
27	土			火	リスクマネジメント委員会	
28	日		講談	水	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ ケアプラン会議	
29	月	ケアマネ会議 医務室会議		木		
30	火			金		
31	水					
その他		M/R会議・ISO推進会議 職員健康診断 千葉県新規採用職員福祉施設研修 千葉県新規採用職員体験学習			インフルエンザ予防接種 夜勤帯防災訓練 防火管理委員会 千葉県新規採用職員体験学習	
苑内研修		「看取り介護研修」			「インフルエンザ予防研修」 「ノロウイルス予防研修」 「MRSA対応研修」 「身体拘束廃止研修」	

12月				1月		
日	曜	行事	ふれあい広場	曜	行事	ふれあい広場
1	土			火		
2	日			水		
3	月	ケアマネ会議	踊り(さくら会)	木		
4	火			金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会	
5	水			土		
6	木		車椅子ダンス	日		
7	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		月	ケアマネ会議	
8	土		民謡クラブ(松一会)	火	ヘルパー会議	
9	日			水		
10	月	ケアマネ会議		木	衛生委員会	車椅子ダンス
11	火	ヘルパー会議		金	ケアリーダー会議 医療的ケア対策委員会	
12	水			土		民謡クラブ(松一会)
13	木	衛生委員会		日		
14	金	ケアリーダー会議		月	買物代行	
15	土			火	ケアマネ会議 生け花クラブ	
16	日			水	誕生会	
17	月	ケアマネ会議 買物代行 ゆず湯		木		
18	火	生け花クラブ		金		
19	水	誕生会		土		
20	木			日		
21	金	在宅サービス担当者会議		月	ケアマネ会議 書道クラブ	
22	土			火	リスクマネジメント委員会	
23	日		講談	水		
24	月	書道クラブ		木	入所検討委員会	
25	火	ケアマネ会議		金	施設運営会議 フロアー会議 給食会議 デイサービス会議 感染症対策委員会	
26	水			土		
27	木	入所検討委員会		日		講談
28	金	施設運営会議 フロアー会議 ショート会議 デイ会議 感染症対策委員会		月	ケアマネ会議 医務室会議	
29	土			火		
30	日			水		
31	月	ケアマネ会議 医務室会議		木		
その他		ISO推進会議 夜間通報訓練 クリスマス会 餅つき	理事会 評議員会		新年会 獅子舞	
苑内研修		「咽頭物除去研修」			「痰の吸引と胃ろう研修」	

2 月				3 月			
日	曜	行 事	ふれあい広場	曜	行 事	ふれあい広場	
1	金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		金	サービス担当者会議 身体拘束廃止委員会		
2	土			土			
3	日	節分豆まき		日			
4	月	ケアマネ会議	踊り（さくら会）	月	ケアマネ会議	踊り（なの花会）	
5	火			火			
6	水			水			
7	木		車椅子ダンス	木		車椅子ダンス	
8	金	ケアリーダー会議		金	ケアリーダー会議		
9	土		民謡クラブ（松一会）	土		民謡クラブ（松一会）	
10	日			日			
11	月			月	ケアマネ会議		
12	火	ケアマネ会議 ヘルパー会議		火	ヘルパー会議		
13	水			水			
14	木	衛生委員会		木	衛生委員会		
15	金	在宅サービス担当者会議		金			
16	土			土			
17	日			日			
18	月	ケアマネ会議 買物代行		月	ケアマネ会議 買物代行		
19	火	生け花クラブ		火	生け花クラブ		
20	水	誕生会		水	誕生会		
21	木			木	人事考課（自己評価）		
22	金	施設運営会議 フロアー会議 ショート会議 デイ会議 感染症対策委員会		金	施設運営会議 フロアー会議 給食会議 デイ会議 感染症対策委員会 ショート会議		
23	土			土			
24	日		講談	日		講談	
25	月	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ		月	ケアマネ会議 医務室会議 書道クラブ		
26	火			火	リスクマネジメント委員会		
27	水	褥瘡対策 排泄委員会		水			
28	木	入所検討委員会		木	入所検討委員会		
29				金			
30				土			
31				日			
その他		DNV監査 さくら祭り実行委員会			理事会 評議員会 ISO推進会議 MR会議		
苑内研修		「リスクマネジメント研修」			「認知症ケア研修」 「精神的ケア研修」		